2019年度　桑原学園　学校経営基本方針

学校課題
◇自分で考え、判断し、行動する主体性の育成
◇自己表現を支える「論理的に話し、真摯に聞き、積極的に書く力」の育成
◇願いや目標をもち、仲間に働きかけ、仲間と共に高まろうとする意識の育成
◇学校・家庭・地域の連携を深め、地域の中で活躍できる社会性の育成

９年後の目指す姿
地域への誇りを土台に、目標に向かって主体性と協調性を発揮し続ける人材の育成

学校の教育目標

じがく　きょうせい　たんれん
自学　共生　鍛錬

（合言葉）じぶんひとりでも、みんなとでも、がんばれる子

今年度の重点
◎ 学校教育計画の具体化と見直し（日課、組織等）
◎ 縦の目・横の目ある指導、教え学び愛う子供の姿
◎ モデルを育てる、モデルを目指す児童生徒を育てる

市の方針
① ９年間を見通した系統的な学習指導を進め、確かな学力を定着させる。
② 学校、家庭、地域が協働し、継続的な生徒指導を行い豊かな心を育てる。
③ 小・中の教育の在り方や系統を理解し合い、発達段階に応じたきめ細かな指導により、学校生活への適応力を向上させる。
④ 英語教育、ICT 教育により、未来に生きる社会に対応できる能力を育てる。
⑤ 地域の実態に応じた小中一貫教育の在り方を模索する。

自学

確かな学力の定着
○ 複数課程の教科担任制
○ ９年間で高める学習姿勢（話し方・聞き方・反応の仕方）
○ ９年間で見直す学習計画（つまずきや効率化、教科横断的な指導の洗い出し）
○ ９年間で見直す指導過程（前期の知識・技能、後期の思考・判断）
○ ９年間で培う自ら学ぶ意欲をもった学習集団（「分からない」を大切にできる学習集団の育成）
○ ９年間で育てる語彙力・表現力（辞書の活用、図書館利用・新聞利用の充実）
○ ９年間で身に付ける使える英語力
○ ９年間で身に付ける ICT 活用
○ ９ 年間で見直す補充学習と家庭学習

共生

自治・自浄意識の育成
○ ９年間こだわる自治・自浄の願いと目指す姿を明確にした特別活動
○ 教え学び合い科を活かした効果的な異年齢集団活動
○ ９年間通して人権尊重の気風が漲るあたたかい言動の実践
○ ９年間こだわる挨拶・反応（社会に通用する挨拶・反応名人）
○ ９年間で作り上げる児童生徒による授業や係・委員会活動（教え合い・伝え合う工夫、リーダーや教科係の活躍）
○ ９年間で育てる福祉の心、地域に貢献する人材育成（双樹園交流、校内・地域ボランティア、児童会生徒会サミット、コミュニティセンター行事、地域関連行事等への参画）

鍛錬

志の醸成
○ ９年間を生かした、キャリア教育・志教育・本物にふれる体験（地域産業、職場体験、外部講師、高校見学、一日入学等）
○ ９年間やりきる目標や目的を明確にした運動の取り組み（体力づくり、部活動）
○ ９年間通して自分で生活を律する指導の重視（進路実現に向けた家庭学習習慣、自主学習、家庭でのルール作り、生活習慣）
○ ９年間で育てる、自分を守り、地域を守る地域防災人の育成（命を守る訓練、登下校）
○ ９年間で築く、伝統の時間いっぱい、すみずみまでやりきる掃除、花活動
○ ９年間継続させる教育相談・学習相談・進路相談

地域活性化に貢献する小・中一貫教育
自己肯定感、学力、コミュニケーション力、志、地域資源活用

家庭・地域との連携
- ＰＴＡ、保護者、地域に対する学校情報の積極的な配信
- ＰＴＡ、保護者、地域からの情報についての積極的な収集（良くない情報こそ大切にする）
- コミュニティセンターによる、地域人材の活用

＜学校づくりの基本＞
◎ほめる。指導してほめる。ほめて見届ける。ほめたことを保護者と共有する。
◎児童生徒、保護者、地域の方、来校者（業者の方も含む）、同僚への気遣い、目配り、耳配りができる力を付ける。
◎スリム化、指導改善、不祥事根絶の職員室立っての議論を大切にする。
◎挨拶、学び合い、フットワーク軽い職員室、職員集団とする。
◎自ら考える。謙虚に丁寧に、批判ではなく一枚岩を目指す。

関係諸機関との連携
- 日常的な情報交流と迅速な対応
- 交流を通しての学び
  合同運動会、合同引き渡し訓練（桑原保育園等との連携）
- 児童委員等との情報交流